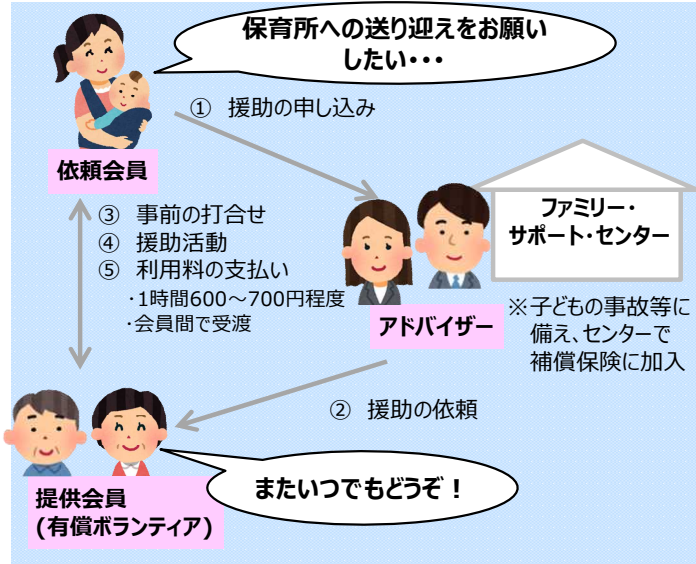


ファミリー・サポート・センターの充実

現 状

○ファミリー・サポート・センター事業の概要

- ・子育ての援助を受けたい人で行きたい人がそれぞれ会員登録し、会員間で子育ての助け合いをする仕組み



○本県の実施状況

- ・高知市(H16)、佐川町(H27)、香南市(H28)、南国市(H29)、安芸市(H29)の4市1町

課 題

ニーズが顕在化していない
・市町村において、事業実施に踏み切れない

委託先の確保が困難
・市町村が想定する委託先を「手いっぱい」と認識
・委託できる適当な団体が無い

会員の確保が困難
・特に援助会員の確保が困難
・預かりに対する不安感が先行している

援助活動に対する不安
・自宅で1人で預かることに対する不安

H30の取組

1.高知版ファミリー・サポート・センター設置への支援

○高知版ファミリー・サポート・センター運営費補助金 (25,288千円)

国の補助要件を満たさない会員数50人未満の小規模なセンターを設置・運営する市町村を県単独で支援

- ・補助率：①②③2/3、③10/10
- ・支援内容：①会員数50人未満のセンターの設置・運営
②専任職員を1名以上配置
③市町村が独自に行う研修
④提供会員の活動支援
(提供会員に加入し、援助活動を行った場合に年額5,000円の活動費を支給)

○ファミリー・サポート・センター運営費補助金 (4,166千円)

国の補助を活用してセンターを運営する市町村を支援

2.会員(預けたい・預かりたい)の増にむけた制度の周知と研修の実施

○イベントやテレビCMなどでの広報 (2,376千円)

- ①地域のイベントなどで援助活動の事例を放送し、ファミサポの周知によって、会員の増加につなげる。
- ②テレビCMなどを通じて制度を広く県内へ周知し、未設置市町村におけるニーズの顕在化を図る。

○リーフレットの作成・配布、県の広報媒体を活用した周知 (495千円)

- 提供会員になるための研修の実施 (545千円)
・子育て支援員研修(ファミリーサポートセンターコース)
・開所する市町村が実施する研修の支援

○アドバイザーのスキルアップの支援 (384千円)

進捗状況

項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 新たなセンターを開設する	新規開設市町	担当課との協議・開設準備						8月・香美市 センターの開設・運営						
	開設済市町村	広報等による運営支援、利用促進にかかる取り組みの検討・協議												
	その他市町村	首長訪問、担当課との協議(高知版活用の検討等)												
2. 会員を増やす(共通)	制度の周知					イベント出展		CMによる広報(通年)						
	提供会員の養成	リーフレット作成・配布、県広報媒体による広報(通年)												
	アドバイザーのスキルアップ					子育て支援員研修(ファミリーサポートセンターコース)		基本研修 /2日間×3回		専門研修(共通科目) /3日間×1回		専門研修(ファミリーサポートセンターコース) /1日×1回		アドバイザー研修